

読書活動推進へ向けた取組

1 学校の概要

- ①所在地：郡山市八山田二丁目224番地
- ②学級数・生徒数：21学級・776名
- ③学校図書館の蔵書数：27,073冊

2 読書活動推進の取組内容

- ①生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

(1) 図書委員による本の紹介

おもに「図書館だより」やPOPなどでお勧めの本を紹介している。

(2) 図書コーナーの設置

本校は工業高校という特性から卒業後の進路に就職を希望する生徒も多い。そのため図書館も職業や各種検定・資格取得のための図書を多く揃えており、進路に関するコーナーは特に充実している。



「進路を考えよう」



「進路活動を応援」

- ②学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

「多読賞」を設定し、図書館の本を多く利用した生徒を年度末発行の「図書館報」で発表している。受賞条件は年間100冊以上の貸出があること。さらに在籍中すべての年次で多読賞の条件を満たす3年生には「三年間多読賞」が贈られる。

- ③読書活動の質の向上へ向けた取組

年に1度、校内で「ビブリオバトル」を開催している。今年は4人のバトルーが出演し、参加者投票の結果、チャンプ本が決定した。チャンプ本の紹介者は、学校代表として県大会中通地区予選会に出場した。



放課後の図書館で開催

④その他、読書活動推進へ向けた取組

(1) 大規模改修工事に伴う仮設図書館準備

現在進められている校舎の大規模改修工事により、蔵書の梱包等図書館の引越し作業が今年度から始まった。



運搬のため蔵書はすべて箱詰めにする

仮設のスペースは図書館としては手狭になるため、配架する蔵書は冊数に限りがある。配架資料の選別や書架の配置・閲覧スペースの確保など、改修工事が終わるまでの仮設図書館でも、なるべく生徒が利用しやすい場所となるよう検討しながら作業を進めている。



(2) 図書館管理システムの更新

蔵書をデータベース化し、貸出・返却等はコンピュータを用いて行っているが、昨年末まで利用していたシステムは20年以上前に開発されたもので、不具合がおきた場合もサポートが十分ではなかった。そのため、2023年1月に新たな管理ソフトを導入し、冬休み明けから切り替えて使用している。これまで蔵書検索用のコンピュータは図書館内に一台のみだったが、新システムはこれに加えてインターネット上での検索が可能であり、スマートフォンやタブレット等でも自由に検索することが出来る。これにより、大規模改修工事に伴う図書館休館期間中も、例えば生徒が書店などで気になる本を見つけた時に、学校の図書館にある本かどうかは自宅等でいつでも調べることが出来るようになった。